



関口 和男 議員



### イベントの管理について

**問** ①令和6年度は、花火大会の再開を含む多くのイベントが開催され、多くの人出が予想されるが、雑踏警備について現状と対策を伺う。②他県の花火大会で露天商による事故があったが古河市の安全対策を伺う。

**答（産業部長）** ①花火大会では堤防上に人が滞留することが懸念される。警察からも指導をいただき、堤防上に警備員を配置

するほか、古河地区交通安全協会などの関係機関にも協力いただき雑踏対策に努めている。②イベントなどにより運用が異なる場合もあるが、主催者側としてより安全な場所での出店をしていただくよう、街商組合などの出店者と調整し、安全対策に努めている。また、衛生面に関しては、古河保健所等の許可を受け、指導をいただいている。



### 学校教育について

**問** ①全国の小中学校の80%



古川 一美 議員



### いじめ問題について

**問** いじめは人や自分への信頼感を失わせる絶対に許されない行為である。最近はSNSなどによる誹謗中傷など、問題が複雑化、深刻化している。①いじめ防止、早期発見の対策を伺う。②「自分がされたくないことは人にしない」等の道德教育が何より大事である。所見を伺う。

**答（教育長）** ②いじめ問題を自分のこととして、捉えられるよ

うな授業を核に、いじめをしない態度を身に付けられる教育行政を進めていきたい。

**答（教育部長）** ①教職員による声掛けや、見守りのほか、児童生徒1人1台端末から24時間いつでも相談できる、校内オンライン相談窓口を開設している。



### 民間活力の積極的活用について

**問** 国や地方の財政状況が厳しい中、人口減少や施設老朽化等への適切な対応が急務である。無駄を排し、規制緩和等で自由の領域を増やすこと。民間の創意工夫を促す民間活力を生かす

以上が校則の見直しをしているそうだが、古河市の現状と課題について伺う。②制服のジェンダーレス化が注目されているが古河市の現状について伺う。

**答（教育長）** ②市内の中学校では、性別に関係なく自由に制服の選択を認めている学校や、選択を希望する生徒には個別に対応している学校がある。

**答（教育部長）** ①令和5年度、市内の全小中学校で見直しを行った。校則は児童生徒の学校生活に与える影響が大きいため、児童会や生徒会、保護者会などで校則を確認し、議論する機会をつくっていくよう小中学校に対し指導していく。

ことが重要と考える。①PFI等の計画はあるか。②メリット・デメリットを考慮し、官民連携をどう進めるか所見を伺う。

**答（市長）** ②PFIの導入により、質の高い公共サービスの提供が期待できるが、デメリットやリスクもあるため十分な検証が必要である。お互いがウィン・ウィンの関係となり、利益が得られるよう取り組みたい。

**答（企画政策部長）** ①国の要請を受け、古河市PPP/PFI手法導入優先的検討要領を策定した。（仮称）古河市新公会堂において、導入に向けた検討を進めている。

### 《その他の質問》

・市民生活